

テレビ業界の視聴率至上主義は 悪である 視聴率が日本プロ野球界を襲った 原因を解明する

石田 亮

要 旨

本論文の目的はメディアが「日本プロ野球離れが起きている」と、日本プロ野球中継の視聴率低下を根拠に報じていることに信ぴょう性があるのか明らかにすることである。そしてテレビ局の「視聴率至上主義」の考えを是正し、加えて日本プロ野球界において日本プロ野球中継に最も長く関係し続けている球団である読売ジャイアンツ(巨人)が、日本プロ野球界に与える影響力を見直すことを目的とする。

今日、メディアが「日本プロ野球離れ」が起きていると報道する根拠は何であるのだろうかという疑問に思い調べてみると、どうやら日本プロ野球中継の視聴率が下がっていることを挙げている。しかし視聴率だけの推移で日本プロ野球人気を測れるのか疑問である。

そこで本論文では視聴率の本来のとらえ方を再確認し、日本プロ野球の人気を測る尺度として不適切であるということを明らかにする。そして「視聴率至上主義」の考えが根強いテレビ局を批判し、「視聴率至上主義」の是正を求めるとともに、日本プロ野球界における巨人の影響力の見直しを求めていく。

私たちが得る情報源の大半はメディアからの情報である。しかしその情報を私たちは鵜呑みにせず、正しく判断しなくてはならない。本論文ではメディアからの情報をすべて鵜呑みにするのではなく、正しく取捨選択する必要があるということを再認識すると共に、本論文で今後の日本プロ野球の人気向上となるための一案を考えたい。